

ワールドコーヒーリサーチは、今日および今後の世代のために高品質コーヒーの多様で持続的な供給を緊急に確保するために、全世界のコーヒー業界と一致団結し、科学に基づいた農業に関する解決策を促進しています。

## ワールドコーヒーリサーチとは？

ワールドコーヒーリサーチ (WCR) は、コーヒーの未来を確かなものにするために全世界で研究開発を推進する機関で、29か国の170社以上の会社が参加しています。

天然資源も保護しながら需要拡大に応じられるように、品質を向上し、サプライチェーンのリスクを軽減し、コーヒーの生産を収益性の高い、持続可能な生計に転換するためには、コーヒー農業のイノベーションが必要との認識の下、2012年に全世界のコーヒー産業により設立された非営利の農業研究機関です。

## WCRの活動

WCRは、コーヒーの生産性、収益性、品質、気候レジリエンスを高めて、より優れたプラントを農業従事者が利用できるように早急に取り組んでいます。特に、苗床と種子システムの職業化の支援、種子の試験、栽培システムの近代化の促進を行っています。

原産地の多様性の支援のために不可欠な11か国で優先的に取り組んでいます。11の重点対象国は、世界にある1,250万の家族経営コーヒー生産者の50%が含まれ、世界のコーヒー供給量の30%を生産しています。WCRの目標は、重点対象国の競争力および高品質コーヒーの供給に対する主な脅威に対処する能力を強化することです。

- **ラテンアメリカ:** グアテマラ、ホンデュラス、メキシコ、ニカラグア、ペルー
- **アフリカ:** エチオピア、ケニア、ウガンダ
- **アジア:** インド、インドネシア、パプアニューギニア

この他にも、エルサルバドル、ルワンダ、コスタリカに戦略的研究パートナーが存在します。WCRの研究課題は、生産国や全世界の主要機関と提携して実行されます。

## 農業研究を実施する理由

品質の高いコーヒーを長期的、持続的に確実に供給するために、科学は不可欠です。品種改善は生産者のリスクを軽減し、気候レジリエンスと生産性を改善し、「どの木からもさらに優れた豆を採取」することにつながります。さらに、コーヒー農業の地球温暖化ガス排出の削減と森林破壊を削減するうえで重要な要素です。

現在実施する研究は、将来飲むコーヒーを決定し、さらに農業科学の進歩を使用することで、コーヒーの収穫高、品質性、気候レジリエンス、生産者の収益性を劇的に向上させます。

## コーヒーの未来に投資する理由？

### コーヒーの美味しさを改善



研究を通じて、コーヒーがどのくらい美味しいのか、コーヒーは地球にとってどのくらい良いのか、コーヒーを生産している人々にとってどのくらい良いのかを改善します。

### 生産地の多様性と全世界での供給を維持



戦略的な地域で取り組みながら、多様な生産地から高品質のコーヒーの長期的な供給を確保します。

### 気候変動危機に対処



研究開発は、生産者と企業が気候変動により直面するリスクを軽減するためのツール、テクノロジー、知識を作り出します

### 大規模な影響を及ぼす



WCRとパートナーが作り出す知識とリソースは、全世界の何百万もの生産者の利益に影響を及ぼします。

農業の研究開発への共同投資を通じて、コーヒー企業は多様な生産国で活力があり、持続可能なコーヒー業界の基盤を作り出しています。参加企業は戦略的課題を推進し、情報を提供し、協働作業の支援によって参加の恩恵を受けています。